


ナガボナツハゼ	<i>Vaccinium sieboldii</i> Miq.	情報不足
(環境省:絶滅危惧 I A類)		ツツジ科
選定理由	岐阜県の南東部に生育するという情報があるが未確認。存在すれば極めて貴重である。	写真なし
形態の特徴	高さ1-2mの落葉性低木。葉は互生し、葉柄の長さ1-2mm、葉身は楕円形から卵状楕円形、鋭尖頭、全縁、下面は無毛、長さ3-6cm、幅2-4cm。枝の先に総状花序をつける。苞は楕円形から広披心形、鋭尖頭、長さ7-15mm。花は下向きにつく。花柄は長さ4-12mm、無毛。萼筒は無毛。花冠は鐘形、長さ約5mm、白色で赤色の縦条がある。	
生態的特徴	低湿地に生育する。花期は5月。	
分布状況	日本に固有で、東海地方に分布する。岐阜県では県南東部に見られるという情報がある。	
減少要因	湿地の開発による生育地の破壊が考えられる。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘